

eeyes

Ver1.12A

簡易版取扱説明書

Date: 2024/4/9
Version: 1.09

1	目次	
1	目次	- 2 -
2	入力機器の接続	- 3 -
3	eeyes の設置	- 4 -
4	eeyes の起動	- 5 -
5	eeyes の終了	- 5 -
6	スイッチによる入力	- 6 -
6.1	スイッチによるスキャン入力(自動選択・手動決定)	- 6 -
6.2	スイッチによるスキャン入力(手動選択・手動決定)	- 6 -
6.3	スイッチによるスキャン入力(手動選択・自動決定)	- 6 -
7	アイトラッカーによる入力	- 7 -
7.1	アイトラッカーによる視線入力(移動文字盤)	- 7 -
7.2	アイトラッカーによる視線入力(固定文字盤)	- 8 -
7.3	アイトラッカーによる視線入力(固定文字盤の拡大表示)	- 8 -
8	アイトラッカーとスイッチによる入力	- 9 -
9	濁音・半濁音・小書き文字、大文字・小文字の入力	- 9 -
10	視線入力時の休憩	- 10 -
11	操作系パネルの入力	- 10 -
12	Windows 操作機能	- 13 -
12.1	表示パネル	- 14 -
12.2	視線入力	- 15 -
12.3	スキャン入力	- 16 -
13	視線専用 Windows 操作機能	- 17 -
13.1	操作方法	- 17 -
13.2	ホームパネル	- 18 -
13.3	マウス操作パネル	- 19 -
14	設定で変更できる機能や項目	- 20 -
14.1	表示関連	- 20 -
14.2	音と音声関連	- 21 -
14.3	動作関連	- 21 -
15	用語解説(五十音順)	- 23 -

2 入力機器の接続

eeyes をスイッチ入力をご利用頂く場合は、スイッチケーブルを本体の USB ポートに接続し、別売りのスイッチをスイッチケーブルに差し込んで接続してください。eeyes をアイトラッカーによる入力をご利用頂く場合は、以下の手順でアイトラッカーを接続してください。

- ① アイトラッカーを eeyes の USB ポートへ接続してください。



- ② eeyes の画面の下部にマウンタ(鉄の板)が貼り付けてありますので、アイトラッカーの背面の磁石をマウンタに貼り付け、アイトラッカーを固定してください。



- ③ eeyes の電源を入れてください。
タブレットタイプの場合は、
本体左上に電源スイッチがあります。

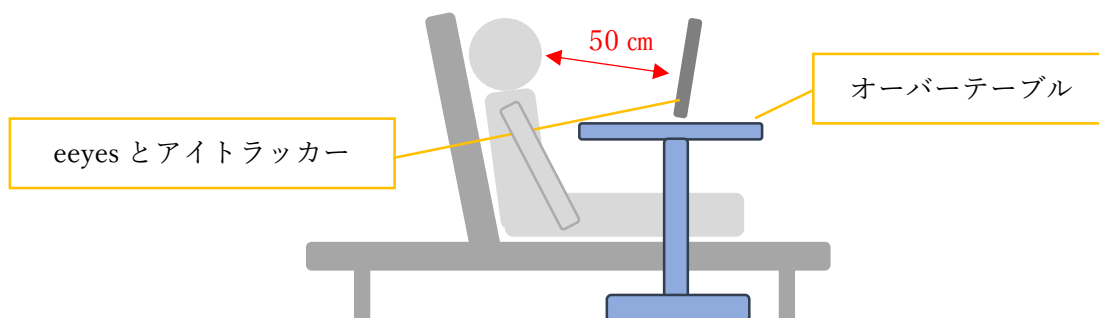


3 eeyes の設置

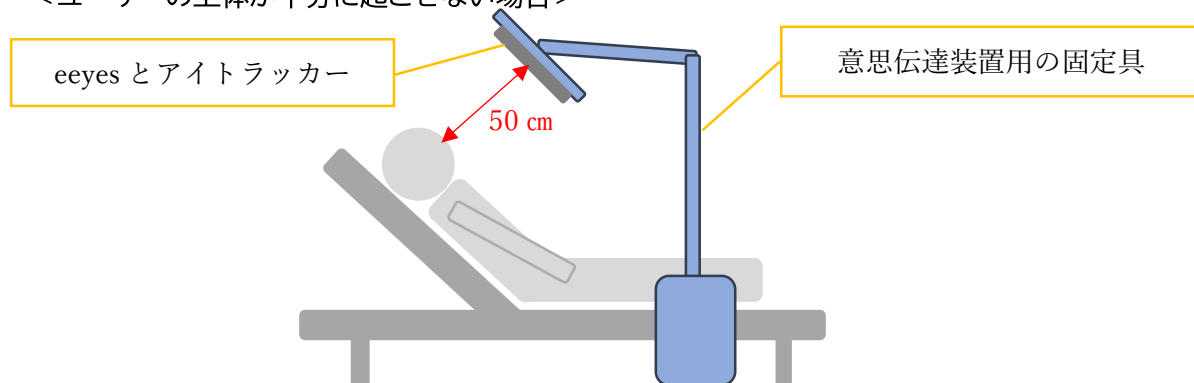
eeyes をスイッチ入力でご利用頂く場合は、スイッチによる入力がしやすく、ユーザーから eeyes のディスプレイが見やすい位置に設置してください。eeyes をアイトラッカーによる視線入力でご利用頂く場合は、eeyes を利用者の顔の前「50cm程度」の距離に設置し、アイトラッカーが利用者の目と正対するよう位置を微調整してください。

画面左上の介護者用メニューから視線位置の表示を行うと位置の微調整がしやすくなります。なお、アイトラッカーをご利用になる場合は、アイトラッカーとユーザーの位置関係が、効率的に入力できるかどうかの非常に重要な要素となります。利用者の上体が十分に起こせない場合は、オーバーテーブルや意思伝達装置用の固定具などを利用して頂くことを推奨致します。

<ユーザーの上体が起こせる場合>



<ユーザーの上体が十分に起こせない場合>



4 eeyes の起動

eeyes の電源ボタンを押し、しばらくお待ち頂くと自動でご利用頂ける状態になります。誤ってキーボードに触れるとパスワード入力を求められるので、その場合は「0000」を入力ください。



5 eeyes の終了

eeyes の終了パネルを選択する事で、eeyes の電源を OFF にする事が出来ます。



各種設定の変更について

eeyes は画面に配置される「設定」パネルから、各種の設定が変更できます。また、画面の左上にある三本線をクリックすると表示される介護者メニューからも、同様の設定が行えます。

6 スイッチによる入力

6.1 スイッチによるスキャン入力(自動選択・手動決定)

設定画面の入力方式切換を OFF、スキャン入力方法を0にすると、スイッチ1つの、自動選択・手動決定のスキャン入力になります。文字盤上を自動で走査する走査マーカをスイッチで操作する事により、入力したい文字を選択できます。



6.2 スイッチによるスキャン入力(手動選択・手動決定)

設定画面で入力方式切換を OFF、スキャン入力方法を1にすると、2つのスイッチによる手動選択・手動決定スキャン入力になります。

6.3 スイッチによるスキャン入力(手動選択・自動決定)

設定画面で入力方式切換を OFF、スキャン入力方法を2にすると、スイッチ1つの手動選択・自動決定になります。

ショートカットキーの利用(「h」キーで利用できるショートカットが表示されます)

- 1) 「z」キーを押すとアイトラッカーでの視線入力に切り替えられます。
- 2) 「m」キーを押すとマウスで操作が可能となります。
- 3) カーソルキーでスキャン速度が変更できます。
- 4) 設定時の音声アナウンスは介護者メニューから OFF にできます。

7 アイトラッカーによる入力

7.1アイトラッカーによる視線入力(移動文字盤)

設定画面で入力方式切換を ON、文字盤の動作を2にすると、画面がスクロールする移動文字盤での入力になります。アイトラッカーで得られたユーザーの視線の情報により、文字盤を直接動かして入力する事ができます。



部位	説明
カーソル	パネルを選択するための位置を示します。入力したいパネルをカーソルに合わせて文字が入力できます。
プログレスサークル	パネルがカーソルに重なると表示されます。アイトラッカーによる入力の場合は、決定までの残り時間を表示します。

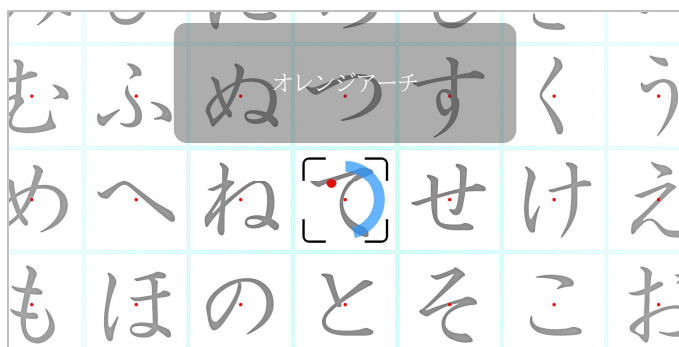
直接指定入力の場合は次の2つのステップで文字を入力していきます。

1) 入力したいパネルを選択する

ユーザーが入力したいパネルを見続ける事により、そのパネルがカーソルの位置まで移動してきます。カーソルの位置に到着したらパネルの決定に移ります。

2) 入力したいパネルを決定

ユーザーが入力したいパネルを見続ける事により、プログレスサークルが表示されます。設定画面でスイッチによる決定を ON にしている場合は、プログレスサークルが円で表示され、スイッチにより文字を決定する事ができます。OFF の場合は、パネルを見続ける事により、プログレスサークルが伸びていき、円弧から円になったら文字が決定されます。



パネルを選択する際は、パネル中央にある赤い点を見ると視線が安定して、選択がしやすくなります。もし操作がし難い場合は、以下をチェックしてください。

<視線入力時のチェックポイント>

- 1) アイトラッカーと利用者の目が正対するよう調整する。
- 2) アイトラッカーと利用者の距離を50cm程度に調整する。
- 3) 薄目にならないよう意識する。
- 4) アイトラッキングの位置がずれていたら、再度キャリブレーションを行う。
- 5) 設定画面で文字盤の移動速度を使いやすい速度に変更する。
- 6) 文字盤が行ったり来たりする場合は、文字盤を動かす事は意識せず、入力したいパネルを見ることに集中する。
- 7) 眼振が大きい場合は、設定画面でパネルの大きさを大きめに変更する。

7.2 アイトラッカーによる視線入力(固定文字盤)

設定画面で入力方式切換を ON、文字盤の動作を1にすると固定文字盤での直接指定入力になります。アイトラッカーで得られたユーザーの視線の情報により、文字盤のパネルを選択して入力する事が可能となります。

7.3 アイトラッカーによる視線入力(固定文字盤の拡大表示)

設定画面で入力方式切換を ON、文字盤の動作を3から6にすると拡大表示する固定文字盤での直接指定入力になります。このとき、次のステップに従って決定してください。また、個々のパネルや拡大領域の選択、決定は通常の固定文字盤と同様に行います。

ショートカットキーの利用(「h」キーで利用できるショートカットの一覧が表示されます)

- 1) 「z」キーを押すとスイッチでのスキャン入力に切り替えられます。
- 2) 「m」キーを押すとマウスで操作が可能となります。
- 3) 「C」キーでキャリブレーション、カーソルキーで決定までの時間が変更されます。

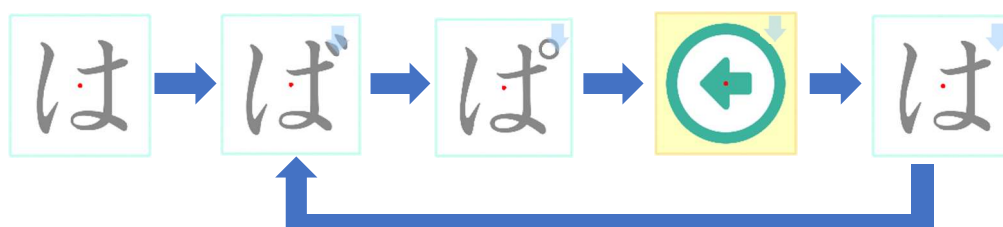
8 アイトラッカーとスイッチによる入力

アイトラッカーを用いた視線入力時に、スイッチを押すと文字が決定されます。設定画面のスイッチによる決定を ON にすると、時間の経過による決定は用いられません。

9 濁音・半濁音・小書き文字、大文字・小文字の入力

ひらがなやアルファベットのパネルは、見続けると濁音・半濁音・小書き文字(ひらがなの場合)や大文字・小文字(アルファベットの場合)に加えて、文字入力のキャンセルが選べ、スピーディに入力ができます。パネル上に選択したい文字が表示されたら、別のパネルを見ると確定されます。スイッチ入力時は、スイッチを押すことで選択する文字を変更できます。

濁点等の切り替えを行っているとき、パネルの右上に水色の矢印が表示されます。この表示を消す条件は、スクロール状態の場合は他の文字パネルを画面中央に吸着させる、固定画面の場合は別の文字に視線を向ける、となります。



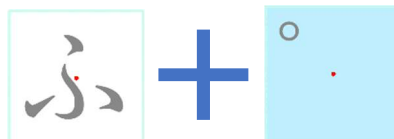
- ・濁音や半濁音の表示は、設定画面や介護者メニューから OFF にできます。
- ・「キャンセル」パネルの表示は、設定画面や介護者メニューから OFF にできます。

濁音・半濁音・小書き文字については、青色のパネルを見ることでも入力ができます。ご利用しやすい方法で文字を選択ください。

<濁音(ぶ)を入力したい場合>



<半濁音(ぷ)を入力したい場合>



文字の選択肢の表示方法は、見続けると表示される文字が変化する方法のほかに、一度にすべての選択肢を表示し、その中から選択したいものを選択する方法もあります。選択肢の表示方法は、設定画面で切り替えることができます。













また、パネル切り換えの抑止を ON にすることで、見続けたときにパネルが切り替わらないようにすることができます。


















10 視線入力時の休憩

視線入力時に5秒間目を閉じると休憩画面に入ります。休憩パネルの選択時と同様に、画面外を見るか画面の4隅を注視する事で休憩から復帰可能です。画面外からの復帰が不都合な場合は設定画面から変更可能です。なお、この機能は設定で OFF にすることが可能です。

11 操作系パネルの入力

操作系のパネルの選択方法は、文字系パネルと同様に注視し続けると選択できます。また、操作系のパネルはひらがな、英数字、絵文字のどのパネルでも共通で表示されます。操作系の各パネルの機能については、以下をご確認ください。

アイコン	パネル名称	説明
	気持ちと体	文字盤を絵文字(気持ちと体)に切り替えます。
	物と操作	文字盤を絵文字(物と操作)に切り替えます。
	英数字	文字盤を英数字に切り替えます。
	ひらがな	文字盤をひらがなに切り替えます。
	漢字変換	入力した文字列を変換します。
	予測変換	予測変換の候補から対象を選択します。 このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	除助詞変換	頭の1文字を抜いて変換します。 このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	発声履歴	発声した文字列の履歴を表示します。
	メモと定型文	メモと定型文を表示します。
	メモ編集	メモの編集を行います。
	文の退避	入力中の文字列を一時退避し、別の要件を伝えた後に、再度選択することで、入力中だった文字列を復帰させます。
	全消去	入力した文字列をすべて消去します。

アイコン	パネル名称	説明
	1文字消去	入力した文字列の最後の1文字を消去します。
	発声	入力した文字列を発声し、読み上げます。
	印刷	入力した文字列をプリンタに印刷します。印刷時の文字や1行に印字する文字数は介護者のみ設定できます。
	メール送受信	入力した文字列をメールの送信・受信したメールの参照を行う画面へ移動します。未読メールがあるときは、その件数を表示します。
	アドレス帳	メールを送信したい宛先を編集します。
	画像閲覧	メールに添付された画像を拡大表示します。特定のフォルダに配置した画像を参照する事も可能です。
	一時停止	一時停止状態の切り替えを行います。
	環境操作	環境操作画面を表示します。
	Windows 操作	後述する Windows 操作画面を表示します。
	設定	設定画面を表示します。
	休憩	休憩画面を表示します。画面の4隅か画面外を見ると復帰します。
	緊急	緊急呼び出し:ブザーが鳴り続けます。このパネルをもう一度選択するか、画面を変更すると鳴りやみます。
	終了	eeyes を終了します。
	入力切り替え	視線入力と走査入力を切り替えます。 このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	較正	視線のキャリブレーションを行います。 このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	明るさ調整	画面の明るさの増減ができます。 このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	音量調整	音量の増減ができます。 このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。

アイコン	パネル名称	説明
	汎用文字盤	任意の文字盤を表示できます。このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	イメージ	任意の画像をパネルに表示できます。このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	時刻記入	選択した現在の時刻を記入して未変換部分を確定します。このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	日付記入	選択した現在の日付を記入して未変換部分を確定します。このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	簡易メール	予め設定した内容のメールを、設定した相手に送信します。このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。
	練習モード	練習モードとの切り替えを行います。このパネルは文字盤編集機能から追加が可能です。【Ver1.12A で追加】
	方向反転	選択することで、スキャンの方向を反転させます。
	移動	キャレットを移動します。
	先頭・末尾	キャレットを文章の先頭・末尾に移動します。
	コピー	文章のコピーする範囲選択を開始します。
	改行	変換対象の文字があるときは、変換対象を確定します。変換対象がないときはキャレットの位置で改行します。



12 Windows 操作機能

メイン画面で「Windows 操作」パネルを選択すると、Windows 操作画面が表示されます。この画面では使用するデスクトップと Windows を操作するための操作メニューが表示されます。メニューで行いたい処理を選択し、その処理を実行する場所を決定することで、Windows に対してクリックなどの操作を行うことができます。この流れは、以下の表のとおりです。各画面についての詳細な解説は、以降の節で行います【Ver1. 12Aで設定画面や介護者メニュー上のWindows操作に関する設定を使いやすく整理しました】


手順	画面	解説
1		操作メニュー画面 Windows で行う操作を選択します。 (この図では右クリックを選択しています。)
2		位置選択画面 クリックなどを実行する位置を選択します。
3		クリック実行 選択した場所で、処理を実行します。

12.1 表示パネル

操作メニュー画面で表示されるパネルは以下の表のとおりです。

アイコン	パネル名称	説明
	ペースト	ペーストを実行します。
	最小化	パネルを最小化します。 (スキャン入力時のみ表示されます。)
	左ドラッグ	マウス左ボタンのドラッグアンドドロップを実行します。
	右ドラッグ	マウス右ボタンのドラッグアンドドロップを実行します。
	ダブルクリック	ダブルクリックを実行します。
	左クリック	左クリックを実行します。
	右クリック	右クリックを実行します。
	スクロール	スクロールを実行します。
	戻る	メイン画面に戻ります。
	位置変更	パネルの位置を変更します。 (スキャン入力時のみ表示されます。)
	削除	削除します。(「Back Space」キー入力)
	エンター	改行処理を実行します。(「Enter」キー入力) 【Ver1.12Aで“リターン”から“エンター”に変更】
	文字盤	文字盤を表示します。

また、このほかに、パネル最小化を解除する以下のパネルがあります。

アイコン	パネル名称	説明
	最小化解除	パネル最小化を解除します。このパネルは背景を透過します。

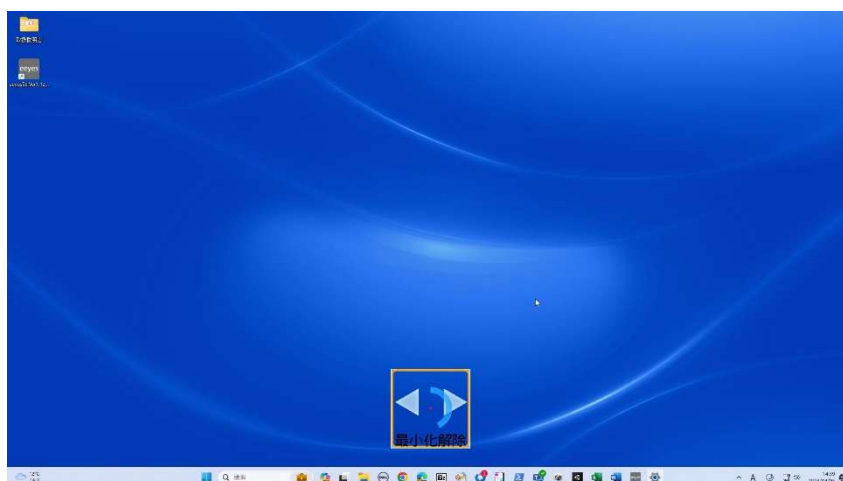
12.2 視線入力

視線入力では凝視することでパネルを選択します。以下に視線入力での右クリックを選択中の画面を図に示します。



文字盤が固定文字盤のとき、画面外を見ることで、パネル最小化やパネル位置の移動を行うことができます。パネルのある側の画面外を見ることでパネルを最小化できます。また、ほかの側を見ることでパネルがその方向へ移動します。上の図の例では、画面外の下側を見たときはメニューパネルが最小化され、それ以外の画面外を見たときはその方向へメニューパネルが移動します。

最小化されているときは、以下の図のようになり、「最小化解除」パネルを凝視することでメニューパネルが表示されます。また、画面外を見ることで、「最小化解除」パネルを移動することができます。



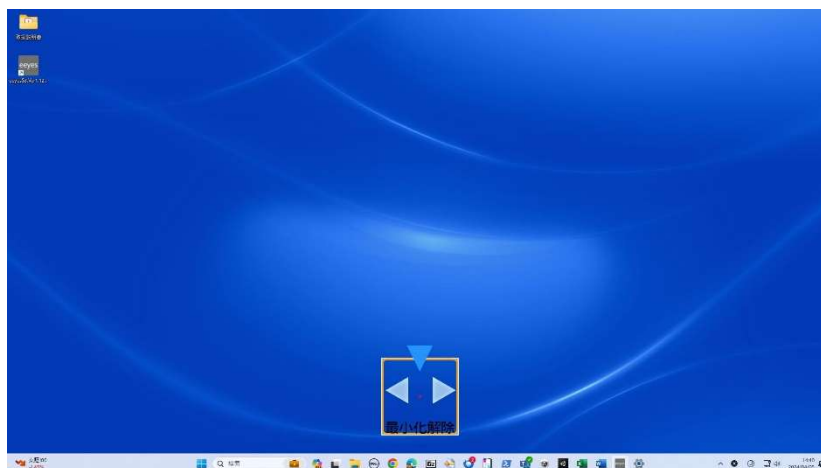
また、移動文字盤の時は、パネルの外側を見ることで、パネルを視線から遠ざかる方向に移動することが出来ます。この時、画面外の下側を見ることでメニューの最小化を行うことが出来ます。

12.3 スキャン入力

スキャン入力では、スイッチでの入力時に、マーカーが差し、オレンジ色の枠のあるパネルを選択します。走査方向は固定です。



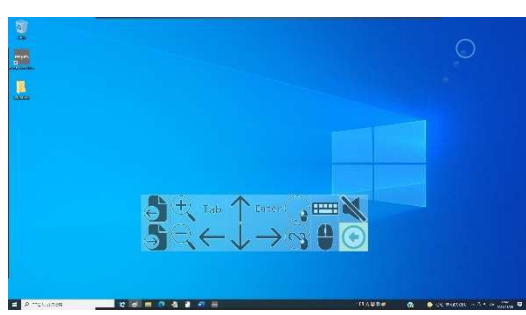
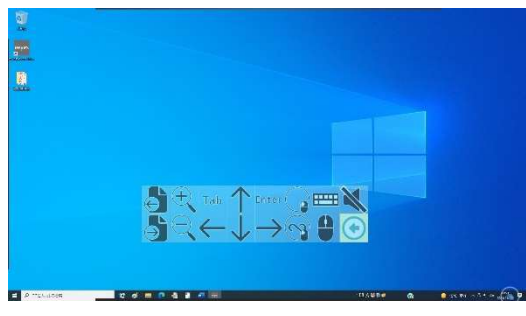

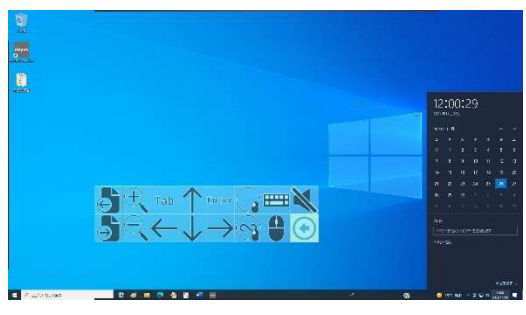
パネルの位置変更は「位置変更」パネルを選択することで、反時計周りに移動します。また、「最小化」パネルを選択することでパネルを最小化します。最小化時は以下のようになり、最小化を解除するには、スイッチ入力を行ってください。



13 視線専用 Windows 操作機能

13.1 操作方法

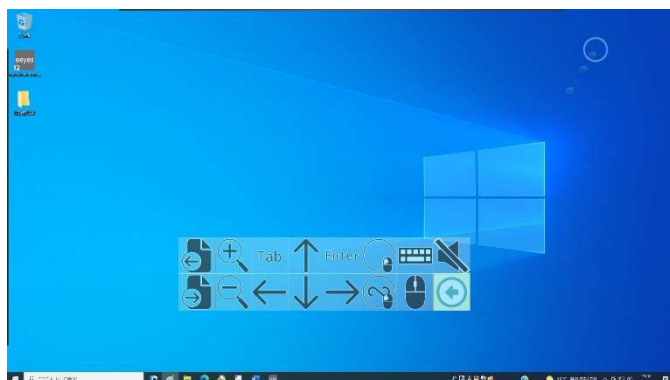
視線専用 Windows 操作画面では、マウスカーソルの位置を先に決定してから、Windows の操作を実行します。

手順	画面	解説
1		位置選択(視線位置表示) 視線ポインタが視線の位置に表示されます。
2		位置選択(位置決定) 視線ポインタを凝視し、クリックなどを実行する位置を選択します。ここでは、画面右下のカレンダーを選択しています。
3		処理選択 操作パネルのパネルを凝視して選択します。この例では左クリックを選択します。
4		処理実行 選択した場所で、処理を実行します。この例では左クリックが実行され、カレンダーが表示されました。

13.2 ホームパネル

(1) パネルの表示と機能

視線専用 Windows 操作画面を表示したときに、表示されている操作パネルがホームパネルです。以下のようなパネルが表示されます。各パネルの機能は以下の表のとおりです。

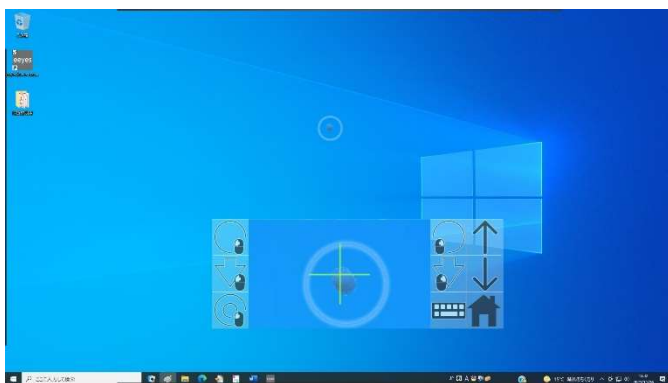


アイコン	パネル名称	説明
↑ ↓ ← →	カーソル	カーソルキーの入力を行います。
Tab Enter	Tab・Enter	それぞれのキーの入力を行います。
	左クリック	選択時のマウスカーソル位置で左クリック・連続左クリックを行います。
	拡大・縮小	Web ブラウザなどの表示を拡大・縮小をします。
	戻る・進む	Web ブラウザなどの機能を実行します。
	ミュート	Windows をミュートします。ミュート時に選択すると、ミュートを解除します。
	マウス操作 パネル切り替え	操作パネルをマウス操作パネルに切り替えます。
	ローマ字入力 パネル切り替え	操作パネルをローマ字入力パネルに切り替えます。
	かな入力 パネル切り替え	操作パネルをかな入力パネルに切り替えます。
	シーン切り替え	メイン画面に移ります。

13.3 マウス操作パネル

(1) パネルの表示と機能

マウス操作パネルは以下の図のようになります。ここで、各パネルの機能は以下の表のとおりです。



アイコン	パネル名称	説明
↑ ↓	カーソル	カーソルキーの入力を行います。
	左クリック	選択時のマウスカーソルの位置で左クリックを行います。
	右クリック	選択時のマウスカーソルの位置で右クリックを行います。
	ダブルクリック	選択時のマウスカーソルの位置で左ダブルクリックを行います。
	左ドラッグ	マウス左ボタンのドラッグアンドドロップを行います。
	右ドラッグ	マウス右ボタンのドラッグアンドドロップを行います。
	ローマ字入力 パネル切り替え	操作パネルをローマ字入力パネルに切り替えます。
	かな入力 パネル切り替え	操作パネルをかな入力パネルに切り替えます。
	ホーム パネル切り替え	操作パネルをホームパネルに切り替えます。

14 設定で変更できる機能や項目

赤字で記載されている設定は【Ver1.12A】にて追加または改変されたものとなります。

14.1 表示関連

文字盤に関するもの:

- ・文字盤編集機能で、文字盤に含まれるパネルの追加や配置が編集できます
- ・文字盤編集機能で、文字盤の配置についてファイルへの保存や読込ができます
- ・文字盤編集機能で、文字盤の大きさが変更できます
- ・文字盤編集機能で、サンプルの文字盤へ簡単に変更できます
- ・文字盤編集機能で、Windows 操作の文字盤が編集できます

パネルに関するもの:

- ・文字盤編集機能で、パネルの内容を編集できます
 - 1) パネルの背景色や文字のフォントと色の変更
 - 2) 入力や即時発声に用いる文言
 - 3) リモコンの赤外線信号の学習、音声など音源の録音
 - 4) パネルのテキストとテキストの表示モードの変更
 - 5) パネルの大きさの変更
 - 6) 起動するアプリやブラウザの URL の設定
 - 7) パネルに表示する画像の設定(イメージパネルのみ)
 - 8) 赤外線信号を繰り返し送出するか否かの設定(環境制御パネルのみ)
 - 9) Windows 操作画面のパネルで入力する固定文字列
 - 10) 簡易メール機能の宛先と本文
 - 11) Windows 操作画面のパネルで入力するショートカットキー
- ・設定画面で、パネルのテキストを表示するか否かが設定できます
- ・設定画面で、Windows 操作画面のパネルの大きさ・透明度が設定できます
- ・同、クリックする場所を選択する際のコマの大きさが設定できます

その他:

- ・設定画面で、表示や印刷に用いる文字の大きさが設定できます
- ・設定画面で、時計を表示するか否かが設定できます
- ・設定画面で、入力した文字を表示する部分の大きさが変更できます
- ・設定画面で、漢字変換や確定前の文字色が設定できます
- ・設定画面で、走査等に用いる**カーソルの色**が設定できます【Ver1.12Aで変更】
- ・設定画面で、休憩画面からの**復帰方法**が設定できます【Ver1.12Aで復帰中に矢印アイコンで本当に復帰するかの確認を抑止する設定が可能となりました】

14.2 音と音声関連

発声に関するもの:

- ・ビルトインの声色で発声する際の声色・速さ・音量が設定できます
- ・コエステーションや MyVoice で発声するか否かが設定できます
- ・文字パネルを入力した際に発声させるか否かが設定できます
- ・環境制御用パネルの発声をビルトインの声色で行うかが設定できます
- ・ショートカットキーを押した際のアナウンスをするか否かが設定できます

その他:

- ・緊急音が鳴動する時間が設定できます
- ・スキャン入力時に鳴るスキャン音が設定できます。

14.3 動作関連

入力全般に関するもの:

- ・設定画面で、スキャン入力と視線入力を切り替える事ができます
- ・設定画面で、文字選択の取り消しパネルを表示するか否かが設定できます
- ・文字盤編集で、濁音・半濁音・小書きの入力方法が切り替えられます。
- ・「入力切り替え」パネルでスキャン入力と視線入力を切り替える事ができます

スキャン入力に関するもの:

- ・設定画面で、スキャンが始まる方向について横か縦かが設定できます
- ・設定画面で、スキャンの速度が変更できます
- ・設定画面で、スキャンの方式について以下から選択できます
 - 1) 自動でスキャンし、ボタンで対象を決定
 - 2) ボタンでスキャンし、ボタンで対象を決定
 - 3) ボタンでスキャンし、時間で対象を決定
- ・設定画面で、スキャンの開始タイミングが設定できます
- ・設定画面で、スイッチの無効時間設定できます
- ・設定画面で、スイッチのタイミングの補正時間が設定できます
- ・設定画面で、スイッチをリピート入力に関する設定ができます
- ・設定画面で、変換候補などを選択する際のスキャン速度の設定ができます
- ・設定画面で、Windows 操作のスクロール方法について以下から設定できます
 - 1) スクロール方向を選択し、次にスイッチが押されるまでスクロールし続ける
 - 2) スクロール方向を選択し、スイッチを押している間スクロールし続ける

視線入力に関するもの:

- ・設定画面で、文字盤の動作について以下から選択できます
 - 1) 文字盤が固定されて表示
 - 2) 文字盤がスクロールして表示
(パネルの大きさ、カーソルへの吸着力、スクロールの初速と速度が調整可)
 - 3) 文字盤が2段階で拡大されて表示
(パネルの大きさ、カウント開始までの時間とカウント時間が調整可)
- ・設定画面で、文字パネルの選択について以下から選択できます
 - 1) 見続ける事により決定する
(カウント開始までの時間とカウント時間が調整可)
 - 2) スイッチで決定する
- ・設定画面で、スクロール方法について以下から選択できます
 - 1) スクロールする方向を指定するパネルを見て一定速度で自動にスクロール
 - 2) スクロールする方向を指定するパネルを見てスクロール
- ・設定画面で、視線ポインタ・センターマーカの表示の有無が設定できます
- ・設定画面で、キャリブレーションを7点で行うか4点で行うか設定できます
- ・設定画面で、休憩画面からの復帰方法が設定できます
- ・設定画面で、Windows 操作時の拡大図やマウスの移動等が調整できます
- ・設定画面で、固定文字盤で注視先が揺れる現象の補正設定が調整できます
- ・設定画面で、休憩を促す表示を行うまでの時間が設定できます
- ・設定画面で、パネル切り換えの抑止の設定ができます
- ・設定画面で、Windows 操作時の動作について以下から選択できます
 - 1) クリックする位置を固定画面で指定
 - 2) クリックする位置をスクロール画面で指定
 - 3) 文字盤の動作に連動。文字盤の動作の設定が固定又は拡大の場合は、固定画面で指定。同設定がスクロールの場合はスクロール画面で指定

その他:

- ・設定画面で、設定の分類毎にジャンプできます
- ・設定画面で、eeyes を再起動してリフレッシュする時間を設定できます
- ・設定画面で、印刷時の文字の大きさと1行あたりの文字数が設定できます
(別売りのサーマルプリンタを利用する方向け)
- ・介護者画面で、設定値の保存が可能となりました
- ・介護者画面で、読み上げスキャンモードとの切り替えできます
- ・介護者画面で、練習文編集画面を表示できます
- ・練習文編集画面で、練習内容の編集や練習モードの動作の設定ができます

15 用語解説(五十音順)

アイトラッカー:

eeyes の入力に用いる機器です。画面上のどこに向けて視線が向いているかを追跡する事により、極わずかな身体の動きで eeyes の操作ができます。

カーソル:

移動式の文字盤で用いられます。視線入力を行う際に、画面中央に位置するカーソルまで文字をスクロールさせる事により当該のパネルの選択が可能となります。

カーソルキー:

キーボード上にある同名のキーを示します。eeyes では、スキャンの速度や文字の決定までの時間の調整に使います。Windows 操作でのカーソルキーパネルはカーソルキーの入力と同じ効果を発生させます。

環境制御:

eeyes に付属する赤外線リモコンからの信号により、家電製品などリモコンで操作できる機器の制御を行うことができます。

キャリブレーション:

視線入力を利用する際に事前に利用者の視線の動きを確認する操作です。この操作を行う事により視線入力の認識の確率が向上します。eeyes の場合は頻繁に実行する必要はない場合が殆どですが、認識率がよくない場合はこれを行います。

キャラット:

画面上に表示される文字の挿入位置を表すカーソルのことです。eeyes では入力した文書の追加や修正などを行う場合に、キャラットの位置を移動させます。

スイッチ:

eeyes の入力に用いる機器です。体の可動部分の極わずかな動きで eeyes の操作ができます。様々な種類があり、体のどの可動部分を使うかにより選択します。

スキャン入力:

入力方法の1つで、パネル上を移動するオレンジ色のカーソルが入力を希望する文字の所に来たタイミングでスイッチを押すことによりパネルを選択します。

スクロール:

移動式の文字盤で用いられます。視線入力を行う際に、スクロールをさせる事により画面に入りきらないパネルを表示することが可能です。

視線入力:

入力方法の1つで、視線の動きをとらえてパネル上を移動するオレンジ色のカーソルが入力を希望する文字の所に来たタイミングで見続けるかスイッチを押すことによりパネルを選択します。

ドラッグ アンド ドロップ:

Windows 操作時に、アイコンやオブジェクトの位置を変える場合や、入力済みの文章の一部の位置を変えたい時などに利用します。

パネル:

eeyes を操作する際の最小単位です。文字や絵文字等が表示されており、文書の作成、絵文字の入力、eeyes の各種機能の利用が可能です。Windows 操作画面では、文字盤全体を操作パネルといい、ます。

プログレスサークル:

視線入力利用する際、目的のパネルを注視し始めると現れ、パネルが確定するまでの進捗状況を示します。

ペースト:

コピー(複製)操作などで取得したデータを、指定した位置に貼り付ける操作です。

ミュート:

Windows 操作の利用時に、ミュートのパネルを選択することにより、PC の音を消すことができます。再度音をだしたい場合は再びミュートのパネルを選びます。

文字盤:

複数のパネルが集まり文字盤を形成します。ひらがな、英数、絵文字、環境制御などのパネルを用いて、意思の伝達や環境制御を行います。

読み上げスキャンモード:【Ver1.12Aで追加】

目が見難い場合など画面ではなく音声をもとに入力を行うモードです。スキャン中の列または行の先頭の文字を読み上げる事によりスイッチのタイミングをお知らせします。読みあげスキ

ランモードへは、介護者用メニューの「読みあげスキャン」ボタンで切り替えと切り戻しを行えます。

練習モード:【Ver1.12Aで追加】

画面に表示された課題文を入力することで、eeyes での文字入力の練習ができます。練習モードへは、練習モードパネルを文字盤に設置して選択するか、ショートカット(R キー)を入力することで切り替えと切り戻しが行えます。また、このモードで利用される、課題文は練習文編集画面で編集することが可能です。

Windows 操作:

eeyes から Windows の操作を行う事により、ブラウザなど様々な Windows 用のアプリケーションの利用が可能となります。